第25講 実践演習(4)

一 文章を読んで、次の問い（**問一**〜**六**）に答えよ。設問の都合で返り点、送り仮名を省いたところがある。

新安（注1）ノ人閻居敬（えんきよけい）（注2）、A所レ居ル為ル二山水ノ所一レ浸ス。恐レ二屋ノ壊レンコトヲ一、B移二シ榻（たふ）（注3）ヲ於戸外一ニ而寝。夢ミル二一烏衣（うい）（注4）ノ人ヲ一。曰ハク、「君避ケテレ水ヲ在リレ此ニ、我モ亦タ避ケテレ水ヲ至ルレ此ニ。於イテレ君ニ何ヲカ害（そこな）ヒテ而迫二迮（せまルコト）（注5）我ヲ一如クナルヤレ是クノ。C不快ナルコト甚シト矣。」居敬寤（さ）メ、不レ(ア)測ラ二其ノ故ヲ一。爾（こ）ノ夕（ゆふべ）三タビ夢ミル。居敬曰ハク、「D豈吾（われ）不当止此耶。」因リテ命ジテ移サシムルニ牀（しやう）（注6）ヲ、乃チ牀脚斜メニ圧ス二一亀ヲ於戸限（注7）ノ外一ニ。(イ)放テバレ之ヲ乃チ去ル。

（徐鉉（じょげん）『稽神録（けいしんろく）』による）

（注）
1 新安——地名。現在の河南省洛陽市の西。
2 閻居敬——人名。
3 榻——長いす兼用の細長い寝台。
4 一烏衣人——ひとりの黒い服を着た人。
5 迫迮——虐げる。おびやかす。
6 牀——ここでは「榻」と同じ。
7 戸限——敷居。

問一　傍線部(ア)「測」・(イ)「放」のそれぞれの本文中の意味を二字の熟語で言い表すとすれば、どれが最も適当か。次の各群の①〜⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

(ア)　測

① 実測　② 測定　③ 推測
④ 目測　⑤ 計測

(イ)　放

① 追放　② 解放　③ 放棄
④ 放置　⑤ 放任

問二　傍線部A「所レ居ル為ル二山水ノ所トレ浸ス」の解釈として最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 住んでいるところが山から湧き出てくる水の流れのほとりにあった。
② 住んでいるところが山から流れてきた水によって水浸しにされてしまった。
③ 住んでいるところが山から流れてきた大水で水没してしまった場所であった。
④ 住んでいるところは山の中で、湧き水のあふれ出てくる場所が近くにあった。
⑤ 住んでいるところは山の中で、湧き出した水によって水浸しになっていた。

問三　傍線部B「移二榻(たふ)於戸外一而寝」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 榻を戸外より移して寝(い)ねたり。
② 戸外より榻を移して寝ねたり。
③ 榻を戸外に移して寝ねたり。
④ 戸外に寝ねて榻を移したり。
⑤ 榻を移して戸外に於いて寝ねたり。

問四　傍線部C「不快(ナルコト)甚(シト)矣」とあるが、その理由を具体的に述べたのは本文中のどの部分か。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 所レ居ル為ル二山水ノ所トレ浸ス一。
② 我モ亦タ避ケテレ水ヲ至ルレ此ニ。
③ 居敬寤(さ)メ、不レ測ラ二其ノ故ヲ一。
④ 爾(この)夕(ゆふべ)三タビ夢ミル。
⑤ 牀脚斜メニ圧ス二一亀ヲ於戸限ノ外ニ一。

問五　傍線部Ｄ「豈吾（われ）不当止此耶」は「豈に吾当に此に止（とど）まるべからざるか（私はここに止（とど）まっていてはいけないのではなかろうか）」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 豈吾不レ当レ止レ此耶
② 豈吾不レ当二止此一耶
③ 豈三吾不二当止㆑此耶
④ 豈吾不二当レ止此一耶
⑤ 豈二吾不レ当止㆑此耶

問六　本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 閻居敬の家が水害で壊れて、飼っていた亀が家具と敷居の間に挟まれて身動きがとれなくなったため、神が亀を助けに現れた。
② 閻居敬の夢の中に黒い服を着た人が現れて、飼っていた大事な亀が閻居敬のもとに逃げて行ったので返してほしいと訴えた。
③ 閻居敬が水害で寝台と敷居の間に挟まれて身動きがとれなくなったため、かつて閻居敬に恩を受けた亀が姿を変えて助けに現れた。
④ 一匹の亀が閻居敬の寝台と敷居の間に挟まれて身動きがとれなくなったため、閻居敬の夢の中に姿を変えて現れ窮状を訴えた。
⑤ 一匹の亀がかつて住処（すみか）が水浸しになって苦しんでいた時に閻居敬に助けられたため、その恩返しをしようと閻居敬の夢に現れた。

二　文章を読んで、次の問い（**問一**～**六**）に答えよ。設問の都合で返り点と送り仮名を省いたところがある。

張鄧公(ちやうとう)[注1]嘗テ(かつ)謂ヒテレ予ニ(われ)曰ハク、「某(それがし)[注2]挙ゲラレシ[注3]二進士一ニ時、寇莱公(こうらい)[注4]ト同ニ(とも)遊ビ二相国寺(しやうこくじ)[注5]一ニ、前ミテ(すす)詣ル(いた)二一卜肆(ぼくし)[注6]一ニ。

A卜者曰ハク、『二人皆宰相也ト。』既ニ出デ、逢ヒ二張相斉賢(ちやうしやうせいけん)[注7]・王相随(わうしやうずい)一ニ、復タ往キテ詣ルレ之ニ。B卜者大イニ驚キテ曰ハク、『一日之内、而有リト二四人ノ宰相一。』C相顧(あひかへり)ミテ大イニ笑ヒテ而退ク。因リテレ是ニ卜者ハ声望日ニ消エ、D亦不復有人問之、卒ニ(つひ)窮餓シテ以テ死ス。」四人ハ其ノ後皆為リ二宰相一ト、E共欲二為レ之作レ伝[注8]、未レ能也。F其ノ人亦タ可キレ哀レムかな哉。

（范鎮(はんちん)『東斎記事』による）

（注）
1　張鄧公──宋代の宰相、張士遜(しそん)のこと。
2　某──自分を指す言い方。
3　挙二進士一──官吏登用試験の受験資格者に選抜される。
4　寇莱公──宋代の宰相、寇準のこと。
5　相国寺──宋の都にあった寺。
6　卜肆──占いの店。
7　張相斉賢・王相随──それぞれ宋代の宰相、張斉賢・王随のこと。「相」は宰相の意味。
8　作レ伝──伝記を書く。

問一　傍線部A「卜者曰ハク、『二人ハ皆宰相也ト。』」とあるが、「卜者（占い師）」はどのようなことを告げたのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 張鄧公と寇萊公の二人は宰相の経験者であるということ。
② 張鄧公と寇萊公の二人は宰相の地位まで至るということ。
③ 張鄧公と寇萊公の二人は宰相の役職についているということ。
④ 張鄧公と寇萊公の二人は宰相に劣らない人望があるということ。
⑤ 張鄧公と寇萊公の二人は宰相としての見識を備えているということ。

問二　傍線部B「卜者大イニ驚キテ」とあるが、「卜者」はなぜ驚いたのか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① この一日で、思いがけなく四人の優れた才能の持ち主と知り合えたから。
② わずか一日のうちに、まれに見る運勢の人物ばかりを四人も占ったから。
③ 普段はあまり当たらない占いが、この日に限って、四人とも当たったから。
④ 帰ったはずの二人が、その日のうちに、別の二人を連れて戻って来たから。
⑤ たった一日で、大した評判もない店に四人の立派な客が次々に現れたから。

問三　傍線部C「相(あひ)顧(ミテ)大(イニ)笑(ヒテ)而退(ク)」は、「卜者」の占いに対する張鄧公たちのどのような反応を述べたものか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 占いの内容があまりにもめでたいので、お世辞にしてもとても気が利いていると思い、幸先(さいさき)がよいと笑って大喜びした。

② 占いの内容があまりにも似通っているので、不思議なことだと思いながらも、とても縁起がよいとうれしそうに笑いあった。

③ 占いの内容があまりにも当たっているので、わざと身分を隠して占わせたことをきまり悪く思い、笑ってその場を取り繕った。

④ 占いの内容があまりにもよすぎるので、かえってあり得ないと思い、へつらいしか言わない占い師だと笑って取り合わなかった。

⑤ 占いの内容があまりにも期待はずれなので、受け入れる気持ちにはなれず、当てにならない占い師だとあざ笑って問題にしなかった。

問四　傍線部D「亦不復有人問之」は、「亦た復(ま)た人の之に問ふこと有らず」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 亦 不レ 復 有二 人 問一レ 之
② 亦 不二 復 有レ 人 問一レ 之
③ 亦 不二 復 有一レ 人レ 問レ 之
④ 亦 不二 復 有一レ 人 問レ 之
⑤ 亦 不三 復 有二 人 問一レ 之

問五　傍線部E「共 欲二 為レ 之 作一レ 伝、未レ 能 也」を、返り点に従って書き下すとどうなるか。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 共に之が為(ため)に伝を作らんと欲すれども、未だ能(あた)はざるなり。
② 共に之が為に伝を作らんと欲すれども、未だ能ふべけんや。
③ 共に之を為(な)して伝を作らんと欲するは、未だ能はざらんや。
④ 共に之を為して伝を作らんと欲するは、未だ能(よ)くするなり。
⑤ 共に之を為して伝を作らんと欲すれども、未だ能くせざるなり。

問六　傍線部F「其ノ人亦タ可キレ哀レム哉（かな）」とあるが、筆者がそのように述べた理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 相国寺の占い師は予知能力があまり高くなかったために、時の宰相たちに笑われて世間からも認められず、ついには餓死して今ではすっかり忘れられているから。

② 相国寺の占い師はたまたま当たらなかった占いを張鄧公たちから批判され、世間にそのうわさが広まって評判を落とし、ついには餓死して伝記も書かれなかったから。

③ 相国寺の占い師は高い能力を持っていたが、張鄧公たちがその占いを信じなかったために世間の評判を落とし、ついには餓死して伝記も書かれていないから。

④ 相国寺の占い師は高い予知能力を持っていたために、時の宰相たちに危険人物と見なされて世間からも恐れられ、ついには餓死して名前も伝わらなかったから。

⑤ 相国寺の占い師は高い能力を持っていたが、張鄧公たち以外は誰（だれ）もそれを知らなかったために占いを頼む人がなく、ついには餓死して占い方も伝わっていないから。

〈Memo〉

第25講　確認問題

① 「為(ル)二官家(ノ)所(レ)疾(にくム)。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　官家…朝廷。

ア　朝廷に憎まれる。
イ　朝廷が憎い場所となる。
ウ　朝廷で憎む寸前だ。
エ　朝廷の憎みあいとなった。

② 「未(レ)能也」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　未だ能(よ)くするなり。
イ　能に未だにや。
ウ　未だ能(あた)ふべけんや。
エ　未だ能はざるなり。
オ　能は未だなり。

〈Memo〉

第25講　解答

一
問一　(ア)③　(イ)②　問二　②　問三　③
問四　⑤　問五　①　問六　④

二
問一　②　問二　②　問三　④
問四　⑤　問五　①　問六　③

〈現代語訳〉

一

新安の人、閻居敬の、住んでいるところが山から流れてきた水によって水浸しにされてしまった。部屋が壊れることを恐れて、長いす兼用の寝台を外に移して寝た。ひとりの黒い服を着た人を夢に見た。（その人が）言うには、「あなたは水を避けてここにいて、私もまた水を避けてここにいる。あなたに何をしたからといって、私を虐げることがこのようなのか。不快なことこの上ない」と。閻居敬は（夢から）覚めて、（こんな夢を見る）その理由が推測できない。この夜三回（同じ）夢を見た。閻居敬が言うには、「私はここに止（とど）まっていてはいけないのではなかろうか」と。そこで命じて寝台を移させたところ、寝台の脚が傾いて一匹の亀を（寝台と）敷居との間に圧迫していた。この亀を放してやればやっと（そこから亀は）去る。

二

張鄧公が以前私に言うことには、「私が官吏登用試験の受験資格者に選抜されたとき、寇萊公と一緒に相国寺に遊びに行き、導かれるようにある占いの店に行った。占い師が言うには、『（張鄧公と寇萊公の）二人は宰相である〔＝二人とも宰相の地位まで至る〕』と。そのまま（店を）出て、張相斉賢・王相随に会い、ふたたび占いの店に行った。占い師が非常に驚いて言うことには、『一日のうちに、四人の宰相がいる〔＝占った四人ともが宰相の地位になる〕』と。お互いに結果を振り返りおもいっきり笑って店から出た。こういうわけで占い師は評判が日に日に落ちていき、また他にこの占い師に占ってもらう人がいなくなり、ついに（占い師は）困窮して飢えて死んでしまった」と。（その）四人はその後、全員（占い師の占った通りに）宰相となり、一緒に占い師のために伝記を書こうとしたが、まだできていないのである。その人〔＝占い師〕のことはまた憐れむべきだなあ。

第25講　確認問題　解答

〔解説〕

① 「為N所V」は「NのVする所と為る」と読み、「NにVされる」という受身の句法。よって、正解はア。

② 「未」は再読文字で「未だ〜ず」と書き下す。「能」は否定のときは「能はず」と読む。最後の「也」は、上に疑問や反語がないので断定「なり」。「能はず」の「ず」を連体形にして、「能はざるなり」となる。よって、正解はエ。

〔解答〕

① ア　② エ